

平成30年度 生涯学習・社会教育関係職員研修講座

## 「上北地区研修」

平成30年5月24日(木) 会場(十和田市南コミュニティセンター 大ホール)  
受講者数 73名

平成30年度生涯学習・社会教育関係職員研修講座における「上北地区研修」を5月24日(木)に十和田市南コミュニティセンターで実施しました。

この講座は、【新任職員研修】、【センター研修】、【地区研修】の3つに設定しており、今回はその【地区研修】の最初となる『上北地区』の関係職員を対象とした研修会で、「地域課題への実践的取組」をテーマに行いました。

講師に、青森中央学院大学経営法学部 准教授 佐藤 淳 氏をお招きし、「地域課題に向き合った社会教育活動」と題し、学校・地域・行政がうまく連携するためには「対話」が大事であるということや、地域づくりにおいての具体例として、学生を巻き込みプロジェクトに取り組んだ牧之原市の様子を紹介していただくなど、今後の地域作りの参考となる御講義をいただきました。

また、後半の演習では、「生涯学習・社会教育に対して、どのような『問題意識』を持っているか。」をテーマに、参加者の方々が日常の業務を通じて感じていることや考えていることなど、お互いの意見を交換しながらグループワークを行いました。

### 1. 講義：「地域課題に向き合った社会教育活動」 講師：青森中央学院大学 経営法学部 准教授 佐藤 淳 氏

#### 【概要】

#### 1. 私の「問題意識」とは

(1)：「研修」ではなく「研究」

□「研修」 → 知識の伝達

・業務に必要な知識やスキルを身に付ける。・最新の考え方や事例を知る。

■「研究」 → 行動の変容

・自ら学び、成長し、変わる。・「対話」を通じた「経験学習」 実践→修羅場の経験→振り返り→一皮むける・「対話」を通して、硬直化したものの考え方、思考形式、行動様式を学び直していく。

(2)：社会教育と住民自治の大きな壁

・壁を壊すキーワードは「対話」

#### 2 「ドミナントロジック」への気づき

(1)「ドミナントロジック」とは

・私達の心の奥深くに根ざした世の中の前提。

・私達がどの様に現実の世界を解釈し、行動するのかを決めている。

・パラダイム、世界観、マインドセット、思い込み、先入観、固定概念、囚われ。

【講師：佐藤 淳 氏】

(研修の様子)



(2) 地域、組織に潜む「ドミナントロジック」

- ・【反射的な意味づけ】・・・「教育委員会はこんなものだ!!」
- ・【自己満足】・・・「教育委員会はちゃんとやっている!!」
- ・【前例踏襲】・・・「教育委員会は今までこれでやってきた!!」
- ・【問題軽視】・・・「教育委員会では、たいしたことはない!!」
- ・【諦め】・・・「教育委員会では、無理だ!!」



※観ない ※感知しない ※しがみつく

「ドミナントロジック」に気づくには地域、組織での「話し合いの質」を上げるしかない!!⇒「対話」

3 今、牧之原市で起きていること

- (1) 牧之原市は「対話」による協働のまちづくりを行っている。
- (2) 牧之原市の12年間の歩み

【演習の様子】

【第1期 導入期】

- ◇西原市長マニフェスト ◇フォーラム牧之原の失敗
- ◇市民によるマニフェスト評価

【第2期 混沌期】

- ◇男女協働サロンの試行錯誤 ◇『自治基本条例』作成

【第3期 発展期】

- 津波防災まちづくり計画 ◇様々な形態のサロンの展開



- (3) 牧之原市の様々なサロン (対話の場)

【地域】⇒「住民自治」

- 地域の絆づくり事業 ○片浜地区まちづくり計画策定

【テーマ】⇒「市民参画」

<行政計画策定>

- 津波防災まちづくり計画策定 ○総合計画策定 ○公共施設マネジメント

<その他>

- くらしとエネルギーを考える ○地域リーダー育成プロジェクト



2. 演習：「生涯学習・社会教育に対して、どのような『問題意識』を持っているか。」

演習では、「生涯学習・社会教育に対して、どのような『問題意識』を持っているか。」をテーマにグループワークが行われました。グループ内でたくさんでてきた問題意識を1つに絞る作業では「Qワード」(なんで?・例えば?・反対は?・他の考えは?・もし~だったら・立場が変わると?そもそも)という言葉を使って絞り込んでいく手法を使いました。受講者から出た問題意識として、「人が集まる社会教育活動はどうあればよいか」、「子育て世代が参加しやすい社会教育に関する事業・行事をどのように企画するか」、「生涯学習における目標(ゴール)の設定と主役について」などが挙げられ、他地区の社会教育に関わる情報を知り得る機会となり、受講者にとって有意義な演習となりました。

3. 受講者の感想

- ・牧之原市のDVDを使いながらの研修は分かりやすかった。私の住んでいる所では高校生を取り入れた事業がないため、どんどん取り入れていけたら町が変わっていくのではないかと思います。
- ・対話を通じた経験学習がいかに重要か、分かったような気がします。今回この研修会で学んで気持ちが前向きになったこと、これを地域に生かしていけたらと思っています。
- ・牧之原市の事例が大変参考になりました。特に前市長さんの積極的なリーダーシップと首長部局職員の積極的な運営やしかけづくりがこの町の重要ポイントだったと理解しました。